

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

## 事業名【新】広域防災センター展示設備更新事業費

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2839)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000
決定額	6,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

現在の広域防災センターの風水害に関する常設展示については、パネル中心となっている。また、地震に関わる展示や体験が主であり、風水害のコンテンツが不足している。一方で、イベント来場者からは「もっと映像やゲームで学びたい」などの声があるほか、有識者からは「風水害への備えだけでなく、避難のタイミングや方法も学べるとよい」といった意見をいただいている。

VRゴーグルの導入による体験学習の充実やデジタル技術を活用したコンテンツの導入を進める。

## (2) 事業内容

- ・VRゴーグルなど体験学習メニューの増加
- ・災害に関するプロジェクションマッピングや防災学習ゲームアプリの開発により、学習内容を充実

**(3) 県負担・補助率の考え方**

県有施設の展示内容に係る事業のため県が負担することが妥当

**(4) 類似事業の有無**

無

**3 事業費の積算 内訳**

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	968	学習用資機材等
役務費	132	インターネット回線料
業務委託料	255	展示物架設費用等
備品購入費	4,645	VRゴーグル等
合計	6,000	

**決定額の考え方**

**4 参考事項**

**(1) 各種計画での位置づけ**

無

**(2) 国・他県の状況**

令和2年には静岡県が地震防災センターをリニューアル、令和5年には熊本県が防災センターを新設

**(3) 後年度の財政負担**

導入備品の保守費用

**(4) 事業主体及びその妥当性**

県民の防災意識を向上させるため、県が事業主体となることが妥当

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 令和元年度見学者の実績が4,323人であり、コロナ渦において半数以上見学者が減少した。体験学習メニューの増加やD X化による展示方法の見直しにより、コロナ渦で減少する前の水準に戻し、さらに見学者を増加させる。  
 学習内容を充実することで、災害時、確実に避難行動をとる防災意識を県民に啓発し、防災に関する理解を深めていただく。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	開始前 (R4年度)	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①年間見学者数	2,756	7,000	7,000	7,000	7,000	
②センターでの災害・避難カード作成講座開催数	0	12	12	12	12	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和5年度	学習内容の充実に向けて、防災教育フェアや防災イベントの場を活用しアンケートを実施したことに加え、有識者に視察いただき助言やアドバイスを受けた。
令和6年度	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和7年度	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>災害が頻発化・激甚化しており、「自らの命は自ら守る」に向けて、県民の防災意識をより高めていく必要がある。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3 : 期待以上の成果あり                  2 : 期待どおりの成果あり                  1 : 期待どおりの成果が得られていない                  0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	3
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	2

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  対象施設の展示はパネル中心で内容が偏在している。動きのない展示物であり、見て覚える学習の場となっており、これを改善し防災の理解を深めることができる場とする。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  デジタル技術を効果的に活用した魅力ある展示づくりを進める。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>防災キャラバン・防災教育フェア</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>例年の当施設での開催</p>